

最終更新日：令和7年7月1日

【共通】

●更新頻度等について

- ・9月26日以降の更新頻度も、週1回とする。
- ・9月26日以降の更新について、9月26日（火）は、9月24日（日）までの実績を公表する。
- ・以降の公表において、毎週火曜に前日曜までの実績を公表する。

●総接種回数について

- ・最新の集計日までにワクチン接種記録システム（以下、「VRS」という。）に報告された接種回数（1～7回目）の合計を総接種回数とする。
- ・接種日より後に VRS へ報告された場合、遡って当該接種日の接種回数に計上するため、当該接種日の接種回数が後日増加することがある。

●一般接種について

- ・VRS への報告を、接種日ごとに集計する。
- ・土日祝日における報告についても、接種日ごとに集計する。

●「令和5年秋開始接種の接種回数」について

- ・算定定義は、9月20日以降の接種日において、12歳以上の3～7回目接種回数、5～11歳の3～6回目接種回数及び6ヵ月～4歳の4回目接種回数の合計とする。
- ・乳幼児の初回接種としてモデルナ XBB を2回接種した者が、乳幼児の追加接種としてファイザーXBB を3回目接種する場合、当該接種は制度上「令和5年秋開始接種」に含まれるが、政府公表における「令和5年秋開始接種の接種回数」には含めていない。

●職域接種について

- ・ワクチン接種円滑化システム（V-SYS）の報告数の厚生労働省 HP での公表が令和5年4月25日で終了しているため、同日で再掲を終了している。

●接種率の計算について

- ・「接種率」は、接種回数を分子とし、分母については、「全体」に関しては、全人口（125,408,581人）を、「高齢者」に関しては、65歳以上の人口（35,888,449人）を、「小児接種」に関しては、5歳～9歳の人口に、10歳～14歳の人口を5分の2したもの（7,209,951人）を、「乳幼児接種」に関しては、0歳～4歳の人口（4,279,278人）を使用している。
- ・年齢階級別接種率（都道府県別）の実績における「12歳～19歳」に関しては、15歳～19歳の人口に、10歳～14歳の人口を5分の3したもの（8,831,095人）を使用している。

- ・「令和５年秋開始接種の接種回数」の接種率も、分母については、「全体」に関しては、全人口（125,408,581 人）を、「高齢者」に関しては、65 歳以上の人口（35,888,449 人）を使用している。
- ・これらの人口は、令和５年１月１日現在の住民基本台帳を基に、各基礎自治体（市区町村）の性別及び年代階級の数字を使用している。
- ・なお、接種率の算定にあたり、分子の接種回数については、分母の人口と時点日を揃えるために、死亡した方の、接種日が令和４年末までの接種回数を除いている。

【１回目・２回目接種】

●医療従事者について

- ・以下の事務連絡等に基づき、令和３年７月３０日で集計を終了（総接種回数には、令和３年７月３０日までの医療従事者等の接種回数が含まれている。）。

<https://www.mhlw.go.jp/content/000809555.pdf>

http://www.nga.gr.jp/data/activity/committee_pt/shingatakoronauirusukinkyutaisakukaigi/index.html

(参考) 令和 6 年 4 月 1 日までの公表に関する注

【共通】

●更新頻度等について

- ・ 9 月 26 日以降の更新頻度も、週 1 回とする。
- ・ 9 月 26 日以降の更新について、9 月 26 日（火）は、9 月 24 日（日）までの実績を公表する。
- ・ 以降の公表において、毎週火曜に前日曜までの実績を公表する。

●総接種回数について

- ・ 最新の集計日までにワクチン接種記録システム（以下、「VRS」という。）に報告された接種回数（1～7 回目）の合計を総接種回数とする。
- ・ 接種日より後に VRS へ報告された場合、遡って当該接種日の接種回数に計上するため、当該接種日の接種回数が後日増加することがある。

●一般接種について

- ・ VRS への報告を、接種日ごとに集計する。
- ・ 土日祝日における報告についても、接種日ごとに集計する。

●「令和 5 年秋開始接種の接種回数」について

- ・ 算定定義は、9 月 20 日以降の接種日において、12 歳以上の 3～7 回目接種回数、5～11 歳の 3～6 回目接種回数及び 6 ヶ月～4 歳の 4 回目接種回数の合計とする。
- ・ 乳幼児の初回接種としてモデルナ XBB を 2 回接種した者が、乳幼児の追加接種としてファイザー XBB を 3 回目接種する場合、当該接種は制度上「令和 5 年秋開始接種」に含まれるが、政府公表における「令和 5 年秋開始接種の接種回数」には含めていない。

●職域接種について

- ・ ワクチン接種円滑化システム（V-SYS）の報告数の厚生労働省 HP での公表が令和 5 年 4 月 25 日で終了しているため、同日で再掲を終了している。

●接種率の計算について

- ・ 「接種率」は、接種回数を分子とし、分母については、「全体」に関しては、全人口（125,408,581 人）を、「高齢者」に関しては、65 歳以上の人口（35,888,449 人）を、「小児接種」に関しては、5 歳～9 歳の人口に、10 歳～14 歳の人口を 5 分の 2 したものを加えたもの（7,209,954 人）を、「乳幼児接種」に関しては、0 歳～4 歳の人口（4,279,278 人）を使用している。
- ・ 年齢階級別接種率（都道府県別）の実績における「12 歳～19 歳」に関しては、15 歳～19 歳の人口に、10 歳～14 歳の人口を 5 分の 3 したものを加えたもの（8,831,092 人）を使用している。

- ・「令和５年秋開始接種の接種回数」の接種率も、分母については、「全体」に関しては、全人口（125,408,581 人）を、「高齢者」に関しては、65 歳以上の人口（35,888,449 人）を使用している。
- ・これらの人口は、令和５年１月１日現在の住民基本台帳を基に、各基礎自治体（市区町村）の性別及び年代階級の数字を使用している。
- ・なお、接種率の算定にあたり、分子の接種回数については、分母の人口と時点日を揃えるために、死亡した方の、接種日が令和４年末までの接種回数を除いている。

【１回目・２回目接種】

●医療従事者について

- ・以下の事務連絡等に基づき、令和３年７月３０日で集計を終了（総接種回数には、令和３年７月３０日までの医療従事者等の接種回数が含まれている。）。

<https://www.mhlw.go.jp/content/000809555.pdf>

http://www.nga.gr.jp/data/activity/committee_pt/shingatakoronauirusukinkyutaisakukaigi/index.html

(参考) 令和5年9月25日までの公表に関する注

【共通】

●更新頻度等について

- ・5月9日以降の更新頻度は、週1回とする。
- ・5月9日以降の更新について、5月9日(火)は、5月8日(月)までの実績を公表、5月16日(火)は、5月14日(日)までの実績を公表する。以降毎週火曜に前日曜日までの実績を公表する。

●総接種回数について

- ・最新の集計日までにワクチン接種記録システム(以下、「VRS」という。)に報告された接種回数(1～6回目)の合計を総接種回数とする。
- ・接種日より後にVRSへ報告された場合、遡って当該接種日の接種回数に計上するため、当該接種日の接種回数が後日増加することがある。

●一般接種について

- ・VRSへの報告を、接種日ごとに集計する。
- ・土日祝日における報告についても、接種日ごとに集計する。

●「令和5年5月8日以降の接種回数(3回目以上)」について

- ・算定定義は、5月8日以降の接種日において、12歳以上の3～6回目接種回数及び5～11歳の3～5回目接種回数の合計とする。
- ・「令和5年5月8日以降の接種回数(3回目以上)」と「令和5年春開始接種」の違いについて、前者は、後者の対象とならない基礎疾患がない小児の接種回数を含んでいる。

●職域接種について

- ・ワクチン接種円滑化システム(V-SYS)の報告数の厚生労働省HPでの公表が4月25日で終了しているため、同日で再掲を終了する。

●接種率の計算について

- ・「接種率」は、接種回数を分子とし、分母については、「全体」に関しては、全人口(125,918,711人)を、「高齢者」に関しては、65歳以上の人口(35,928,838人)を、「小児接種」に関しては、5歳～9歳の人口に、10歳～14歳の人口を5分の2したものを加えたもの(7,317,297人)を、「乳幼児接種」に関しては、0歳～4歳の人口(4,450,642人)を使用している。
- ・3回目接種の年齢階級別接種率(都道府県別)の実績における「12歳～19歳」に関しては、15歳～19歳の人口に、10歳～14歳の人口を5分の3したものに加えたもの

(8,887,053 人) を使用している。

- ・「令和5年5月8日以降の接種回数（3回目以上）」の接種率も、分母については、「全体」に関しては、全人口（125,918,711 人）を、「高齢者」に関しては、65 歳以上の人口（35,928,838 人）を使用している。
- ・これらの人口は、令和4年1月1日現在の住民基本台帳を基に、各基礎自治体（市区町村）の性別及び年代階級の数字を使用している。
- ・なお、接種率の算定にあたり、分子の接種回数については、分母の人口と時点日を揃えるために、死亡した方の、接種日が令和3年中の接種回数を除いている。

【1 回目・2 回目接種】

●医療従事者について

- ・以下の事務連絡等に基づき、令和3年7月30日で集計を終了（総接種回数には、令和3年7月30日までの医療従事者等の接種回数が含まれている。）。

<https://www.mhlw.go.jp/content/000809555.pdf>

http://www.nga.gr.jp/data/activity/committee_pt/shingatakoronauirusukinkyutaisakukaigi/index.html

(参考) 令和5年5月8日までの公表に関する注

【共通】

●総接種回数について

- ・最新の集計日までに報告された接種回数の合計を総接種回数として公表。
(例えば、原則、月曜日は前日の日曜日時点で報告された総接種回数を、火曜日は前日の月曜日時点で報告された総接種回数を公表。)
- ・総接種回数は、1～4回目接種の回数の合計に、オミクロン株対応ワクチン接種における5回目接種の回数を加えて集計。
- ・接種日より後に報告された場合、遡って当該接種日の接種回数に計上するため、当該接種日の接種回数が後日増加することがある。
- ・増分は、直近の公表の総接種回数との差。
(例えば、原則、月曜日における増分は、当日公表した総接種回数(前日の日曜日時点)から前週金曜日に公表した総接種回数(前週木曜日時点)を引いたものであり、その間の金曜日及び土曜日に報告された接種回数も含まれている。また、原則、火曜日における増分は、当日公表した総接種回数(前日の月曜日時点)から前日の月曜日に公表した総接種回数(その前日の日曜日時点)を引いたものである。)

●一般接種について

- ・ワクチン接種記録システム(VRS)への報告を、接種日ごとに集計。
- ・土日祝日における報告についても、接種日ごとに集計。

●職域接種について

- ・厚生労働省HPで公表されているワクチン接種円滑化システム(V-SYS)への報告数(前週月曜日から日曜日まで)を再掲しており、原則毎週火曜日に公表。

●接種率の計算について

- ・「接種率」は、接種回数を分子とし、分母については、「全体」に関しては、全人口(125,918,711人)を、「高齢者」に関しては、65歳以上の人口(35,928,838人)を、「小児接種」に関しては、5歳～9歳の人口に、10歳～14歳の人口を5分の2したもの(7,317,297人)を加えたものを、「乳幼児接種」に関しては、0歳～4歳の人口(4,450,642人)を使用している。
- ・3回目接種の年齢階級別接種率(都道府県別)の実績における「12歳～19歳」に関しては、15歳～19歳の人口に、10歳～14歳の人口を5分の3したもの(8,887,053人)を使用している。
- ・これらの人口は、令和4年1月1日現在の住民基本台帳を基に、各基礎自治体(市区町村)の性別及び年代階級の数字を使用している。

- ・なお、接種率の算定にあたり、分子の接種回数については、分母の人口と時点日を揃えるために、死亡した方の、接種日が令和3年中の接種回数を除いている。

【1回目・2回目接種】

●医療従事者について

- ・以下の事務連絡等に基づき、令和3年7月30日で集計を終了（総接種回数には、令和3年7月30日までの医療従事者等の接種回数が含まれている。）。

<https://www.mhlw.go.jp/content/000809555.pdf>

http://www.nga.gr.jp/data/activity/committee_pt/shingatakoronauirusukinkyutaisakukaigi/index.html

(参考) 令和4年10月24日までの公表に関する注

【共通】

●総接種回数について

- ・最新の集計日までに報告された接種回数の合計を総接種回数として公表。
(例えば、原則、月曜日は前日の日曜日時点で報告された総接種回数を、火曜日は前日の月曜日時点で報告された総接種回数を公表。)
- ・総接種回数は、1～4回目接種の回数の合計に、オミクロン株対応ワクチン接種における5回目接種の回数を加えて集計。
- ・接種日より後に報告された場合、遡って当該接種日の接種回数に計上するため、当該接種日の接種回数が後日増加することがある。
- ・増分は、直近の公表の総接種回数との差。
(例えば、原則、月曜日における増分は、当日公表した総接種回数(前日の日曜日時点)から前週金曜日に公表した総接種回数(前週木曜日時点)を引いたものであり、その間の金曜日及び土曜日に報告された接種回数も含まれている。また、原則、火曜日における増分は、当日公表した総接種回数(前日の月曜日時点)から前日の月曜日に公表した総接種回数(その前日の日曜日時点)を引いたものである。)

●一般接種について

- ・ワクチン接種記録システム(VRS)への報告を、接種日ごとに集計。
- ・土日祝日における報告についても、接種日ごとに集計。

●職域接種について

- ・厚生労働省HPで公表されているワクチン接種円滑化システム(V-SYS)への報告数(前週月曜日から日曜日まで)を再掲しており、原則毎週火曜日に公表。

●接種率の計算について

- ・「接種率」は、接種回数を分子とし、分母については、「全体」に関しては、全人口(125,918,711人)を、「60歳以上」に関しては、60歳以上の人口(43,306,893人)を、「高齢者」に関しては、65歳以上の人口(35,928,838人)を、「小児接種」に関しては、5歳～9歳人口に、10歳～14歳人口を5分の2したものを加えたもの(7,317,297人)を使用している。
- ・3回目接種の年齢階級別接種率(都道府県別)の実績における「12歳～19歳」に関しては、15歳～19歳人口に、10歳～14歳人口を5分の3したもの(8,887,053人)を使用している。
- ・これらの人口は、令和4年1月1日現在の住民基本台帳を基に、各基礎自治体(市区町村)の性別及び年代階級の数字を使用している。

- ・なお、接種率の算定にあたり、分子の接種回数については、分母の人口と時点日を揃えるために、死亡した方の、接種日が令和３年中の接種回数を除いている。

【１回目・２回目接種】

●医療従事者について

- ・以下の事務連絡等に基づき、令和３年７月30日で集計を終了（総接種回数には、令和３年７月30日までの医療従事者等の接種回数が含まれている。）。

<https://www.mhlw.go.jp/content/000809555.pdf>

http://www.nga.gr.jp/data/activity/committee_pt/shingatakoronauirusukinkyutaisakukaigi/index.html

(参考) 令和4年9月20日までの公表に関する注

【共通】

●総接種回数について

- ・最新の集計日までに報告された接種回数の合計を総接種回数として公表。
(例えば、原則、月曜日は前日の日曜日時点で報告された総接種回数を、火曜日は前日の月曜日時点で報告された総接種回数を公表。)
- ・接種日より後に報告された場合、遡って当該接種日の接種回数に計上するため、当該接種日の接種回数が後日増加することがある。
- ・増分は、直近の公表の総接種回数との差。
(例えば、原則、月曜日における増分は、当日公表した総接種回数(前日の日曜日時点)から前週金曜日に公表した総接種回数(前週木曜日時点)を引いたものであり、その間の金曜日及び土曜日に報告された接種回数も含まれている。また、原則、火曜日における増分は、当日公表した総接種回数(前日の月曜日時点)から前日の月曜日に公表した総接種回数(その前日の日曜日時点)を引いたものである。)

●一般接種について

- ・ワクチン接種記録システム(VRS)への報告を、接種日ごとに集計。
- ・土日祝日における報告についても、接種日ごとに集計。

●職域接種について

- ・ワクチン接種円滑化システム(V-SYS)への報告(前週月曜日から日曜日まで)を集計し、原則毎週火曜日に公表。
- ・職域接種の接種回数は、V-SYSとVRSで一部重複があるため、総合計の算出に当たっては重複を除外。

●接種率の計算について

- ・「接種率」は、接種回数を分子とし、分母については、「全体」に関しては、全人口(125,918,711人)を、「60歳以上」に関しては、60歳以上の人口(43,306,893人)を、「高齢者」に関しては、65歳以上の人口(35,928,838人)を、「小児接種」に関しては、5歳～9歳人口に、10歳～14歳人口を5分の2したものを加えたもの(7,317,297人)を使用している。
- ・3回目接種の年齢階級別接種率(都道府県別)の実績における「12歳～19歳」に関しては、15歳～19歳人口に、10歳～14歳人口を5分の3したものを加えたもの(8,887,053人)を使用している。

- ・これらの人口は、令和4年1月1日現在の住民基本台帳を基に、各基礎自治体（市区町村）の性別及び年代階級の数字を使用している。

- ・なお、接種率の算定にあたり、分子の接種回数については、分母の人口と時点日を揃えるために、死亡した方の、接種日が令和3年中の接種回数を除いている。

【1回目・2回目接種】

●医療従事者について

- ・以下の事務連絡等に基づき、令和3年7月30日で集計を終了（総接種回数には、令和3年7月30日までの医療従事者等の接種回数が含まれている。）。

<https://www.mhlw.go.jp/content/000809555.pdf>

http://www.nga.gr.jp/data/activity/committee_pt/shingatakoronauirusukinkyutaisakukaigi/index.html

(参考) 令和4年8月31日までの公表に関する注

【共通】

●総接種回数について

- ・最新の集計日までに報告された接種回数の合計を総接種回数として公表。
(例えば、原則、月曜日は前日の日曜日時点で報告された総接種回数を、火曜日は前日の月曜日時点で報告された総接種回数を公表。)
- ・接種日より後に報告された場合、遡って当該接種日の接種回数に計上するため、当該接種日の接種回数が後日増加することがある。
- ・増分は、直近の公表の総接種回数との差。
(例えば、原則、月曜日における増分は、当日公表した総接種回数(前日の日曜日時点)から前週金曜日に公表した総接種回数(前週木曜日時点)を引いたものであり、その間の金曜日及び土曜日に報告された接種回数も含まれている。また、原則、火曜日における増分は、当日公表した総接種回数(前日の月曜日時点)から前日の月曜日に公表した総接種回数(その前日の日曜日時点)を引いたものである。)

●一般接種について

- ・ワクチン接種記録システム(VRS)への報告を、接種日ごとに集計。
- ・土日祝日における報告についても、接種日ごとに集計。

●職域接種について

- ・ワクチン接種円滑化システム(V-SYS)への報告(前週月曜日から日曜日まで)を集計し、原則毎週火曜日に公表。
- ・職域接種の接種回数は、V-SYSとVRSで一部重複があるため、総合計の算出に当たっては重複を除外。

●接種率の計算について

- ・「接種率」は、接種回数を分子とし、分母については、「全体」に関しては、全人口(126,645,025人)を、「60歳以上」に関しては、60歳以上の人口(43,180,103人)を、「高齢者」に関しては、65歳以上の人口(35,767,994人)を、「小児接種」に関しては、5歳～9歳人口に、10歳～14歳人口を5分の2したものを加えたもの(7,406,066人)を使用している。
- ・3回目接種の年齢階級別接種率(都道府県別)の実績における「12歳～19歳」に関しては、15歳～19歳人口に、10歳～14歳人口を5分の3したものを加えたもの(9,010,292人)を使用している。
- ・なお、これらの人口は、令和3年1月1日現在の住民基本台帳を基に、各基礎自治体(市区町村)の性別及び年代階級の数字を使用している。

【1回目・2回目接種】

●医療従事者について

- ・以下の事務連絡等に基づき、令和3年7月30日で集計を終了（総接種回数には、令和3年7月30日までの医療従事者等の接種回数が含まれている。）。

<https://www.mhlw.go.jp/content/000809555.pdf>

http://www.nga.gr.jp/data/activity/committee_pt/shingatakoronauirusukinkyutaisakukaigi/index.html

(参考) 令和4年5月25日までの公表に関する注

【共通】

●総接種回数について

- ・最新の集計日までに報告された接種回数の合計を総接種回数として公表。
(例えば、原則、月曜日は前日の日曜日時点で報告された総接種回数を、火曜日は前日の月曜日時点で報告された総接種回数を公表。)
- ・接種日より後に報告された場合、遡って当該接種日の接種回数に計上するため、当該接種日の接種回数が後日増加することがある。
- ・増分は、直近の公表の総接種回数との差。
(例えば、原則、月曜日における増分は、当日公表した総接種回数(前日の日曜日時点)から前週金曜日に公表した総接種回数(前週木曜日時点)を引いたものであり、その間の金曜日及び土曜日に報告された接種回数も含まれている。また、原則、火曜日における増分は、当日公表した総接種回数(前日の月曜日時点)から前日の月曜日に公表した総接種回数(その前日の日曜日時点)を引いたものである。)

●一般接種について

- ・ワクチン接種記録システム(VRS)への報告を、接種日ごとに集計。
- ・土日祝日における報告についても、接種日ごとに集計。

●職域接種について

- ・ワクチン接種円滑化システム(V-SYS)への報告(前週月曜日から日曜日まで)を集計し、原則毎週水曜日に公表。
- ・職域接種の接種回数は、V-SYSとVRSで一部重複があるため、総合計の算出に当たっては重複を除外。

●接種率の計算について

- ・「接種率」は、接種回数を分子とし、分母については、「全体」に関しては、全人口(126,645,025人)を、「高齢者」に関しては、65歳以上の人口(35,767,994人)を、「小児接種」に関しては、5歳～9歳人口に、10歳～14歳人口を5分の2したものを加えたものを使用している。(7,406,066人)
- ・3回目接種の年齢階級別接種率(都道府県別)の実績における「12歳～19歳」に関しては、15歳～19歳人口に、10歳～14歳人口を5分の3したものを加えたものを使用している。(9,010,292人)
- ・なお、これら人口は、令和3年1月1日現在の住民基本台帳を基に、各基礎自治体(市区町村)の性別及び年代階級の数字を使用している。

【1回目・2回目接種】

●医療従事者について

- ・以下の事務連絡等に基づき、令和3年7月30日で集計を終了（総接種回数には、令和3年7月30日までの医療従事者等の接種回数が含まれている。）。

<https://www.mhlw.go.jp/content/000809555.pdf>

http://www.nga.gr.jp/data/activity/committee_pt/shingatakoronauirusukinkyutaisakukaigi/index.html

(参考) 令和4年4月10日までの公表に関する注

【共通】

●総接種回数について

- ・最新の集計日までに報告された接種回数の合計を総接種回数として公表。

(例えば、原則、月曜日は前日の日曜日時点で報告された総接種回数を、火曜日は前日の月曜日時点で報告された総接種回数を公表。)

- ・接種日より後に報告された場合、遡って当該接種日の接種回数に計上するため、当該接種日の接種回数が後日増加することがある。

- ・増分は、直近の公表の総接種回数との差。

(例えば、原則、月曜日における増分は、当日公表した総接種回数(前日の日曜日時点)から前週金曜日に公表した総接種回数(前週木曜日時点)を引いたものであり、その間の金曜日及び土曜日に報告された接種回数も含まれている。また、原則、火曜日における増分は、当日公表した総接種回数(前日の月曜日時点)から前日の月曜日に公表した総接種回数(その前日の日曜日時点)を引いたものである。)

●一般接種について

- ・ワクチン接種記録システム(VRS)への報告を、接種日ごとに集計。
- ・土日祝日における報告についても、接種日ごとに集計。

●職域接種について

- ・ワクチン接種円滑化システム(V-SYS)への報告(前週月曜日から日曜日まで)を集計し、原則毎週水曜日に公表。
- ・職域接種の接種回数は、V-SYSとVRSで一部重複があるため、総合計の算出に当たっては重複を除外。

●接種率の計算について

- ・「接種率」は、接種回数を分子とし、分母については、「全体」に関しては、全人口(126,645,025人)を、「高齢者」に関しては、65歳以上の人口(35,767,994人)を用いている(この人口は、令和3年1月1日現在の住民基本台帳を基に、各基礎自治体(市区町村)の性別及び年代階級の数字を集計したもの。)

【1回目・2回目接種】

●医療従事者について

- ・以下の事務連絡等に基づき、令和3年7月30日で集計を終了（総接種回数には、令和3年7月30日までの医療従事者等の接種回数が含まれている。）。

<https://www.mhlw.go.jp/content/000809555.pdf>

http://www.nga.gr.jp/data/activity/committee_pt/shingatakoronauirusukinkyutaisakukaigi/index.html

(参考) 令和4年2月21日までの公表に関する注

【1回目・2回目接種】

●一般接種（高齢者含む）について

- ・ ワクチン接種記録システム（VRS）への報告を、接種日ごとに集計。
- ・ 土日祝日における報告についても、接種日ごとに集計。
- ・ 最新の集計日までに報告された接種回数の合計を総接種回数として公表。

（例えば、原則、月曜日は前日の日曜日時点で報告された総接種回数を、火曜日は前日の月曜日時点で報告された総接種回数を公表。）

- ・ 接種日より後に報告された場合、遡って当該接種日の接種回数に計上するため、当該接種日の接種回数が後日増加することがある。
- ・ 増分は、直近の公表の総接種回数との差。

（例えば、原則、月曜日における増分は、当日公表した総接種回数（前日の日曜日時点）から前週金曜日に公表した総接種回数（前週木曜日時点）を引いたものであり、その間の金曜日及び土曜日に報告された接種回数も含まれている。また、原則、火曜日における増分は、当日公表した総接種回数（前日の月曜日時点）から前日の月曜日に公表した総接種回数（その前日の日曜日時点）を引いたものである。）

- ・ なお、医療従事者等は、以下の事務連絡等に基づき、令和3年7月30日で集計を終了（総接種回数には、令和3年7月30日までの医療従事者等の接種回数が含まれている。）。

<https://www.mhlw.go.jp/content/000809555.pdf>

http://www.nga.gr.jp/data/activity/committee_pt/shingatakoronauirusukinkyutaisakukaigi/index.html

●職域接種について

- ・ ワクチン接種円滑化システム（V-SYS）への報告（前週月曜日から日曜日まで）を集計し、原則水曜日に公表。
- ・ 職域接種の接種回数は、V-SYSとVRSで一部重複があるため、総合計の算出に当たっては重複を除外。

【3回目接種】

●3回目接種の実績について

- ・ 公表日の前日までのVRSへの報告を、公表日ごとに累計したもの。
- ・ 増分は、直近の公表分との差。

【共通】

●接種率の計算について

- ・「接種率」は、接種回数を分子とし、分母については、「全体」に関しては、全人口（126,645,025 人）を、「高齢者」に関しては、65 歳以上の人口（35,767,994 人）を用いている（この人口は、令和3年1月1日現在の住民基本台帳を基に、各基礎自治体（市区町村）の性別及び年代階級の数字を集計したもの。）。

●その他

- ・ 1・2回目接種分について、1月4日公表分から、転出者分の接種回数の取扱を変更している。
 - ※（従前の取扱）個別の自治体が現に住民登録がある住民の接種回数を正確に把握する観点から、転出者の記録は計上せず。
 - （変更後の取扱）追加接種の対象者は2回目接種から一定期間経過後の者でありこれまでの実績から市町村で把握可能であること、転出者が増え計上されない回数が増えていることから、転出済の記録を計上する。

(参考) 令和3年8月2日までの公表に関する注

●一般接種（高齢者含む）について

- ・ワクチン接種記録システム（VRS）への報告を、接種日ごとに集計。
（医療従事者等として集計する接種回数を除く。）
- ・土日祝日における報告についても、接種日ごとに集計。
- ・最新の集計日までに報告された接種回数の合計を総接種回数として公表。
（例えば、原則、月曜日は前日の日曜日時点で報告された総接種回数を、火曜日は前日の月曜日時点で報告された総接種回数を公表。）
- ・接種日より後に報告された場合、遡って当該接種日の接種回数に計上するため、当該接種日の接種回数が後日増加することがある。
- ・増分は、直近の公表の総接種回数との差。
（例えば、原則、月曜日における増分は、当日公表した総接種回数（前日の日曜日時点）から前週金曜日に公表した総接種回数（前週木曜日時点）を引いたものであり、その間の金曜日及び土曜日に報告された接種回数も含まれている。また、原則、火曜日における増分は、当日公表した総接種回数（前日の月曜日時点）から前日の月曜日に公表した総接種回数（その前日の日曜日時点）を引いたものである。）

●医療従事者等について

- ・ワクチン接種円滑化システム（V-SYS）への報告を、報告日（17:00時点）ごとに集計。
（一般接種（高齢者含む）として集計する接種回数を除く。）
- ・土日祝日における報告については、次の平日における報告に合わせて集計。
- ・最新の集計日までに報告された接種回数の合計を総接種回数として公表。
（例えば、原則、月曜日は前週金曜日時点で報告された総接種回数を、火曜日は前日の月曜日時点で報告された総接種回数を公表。）
- ・増分は、直近の公表の総接種回数との差。
（例えば、原則、月曜日における増分は、当日公表した総接種回数（前週金曜日時点）から前週金曜日に公表した総接種回数（前週木曜日時点）を引いたものである。また、原則、火曜日における増分は、当日公表した総接種回数（前日の月曜日時点）から前日の月曜日に公表した総接種回数（前週金曜日時点）を引いたものであり、その間の土曜日及び日曜日に報告された接種回数も含まれている。）

●接種率の計算について

- ・「接種率」は、接種回数を分子とし、分母については、「全体」に関しては、全人口（127,138,033人）を、「高齢者」に関しては、65歳以上の人口（35,486,339人）を用いている（データは令和2年1月1日現在の住民基本台帳から）。